

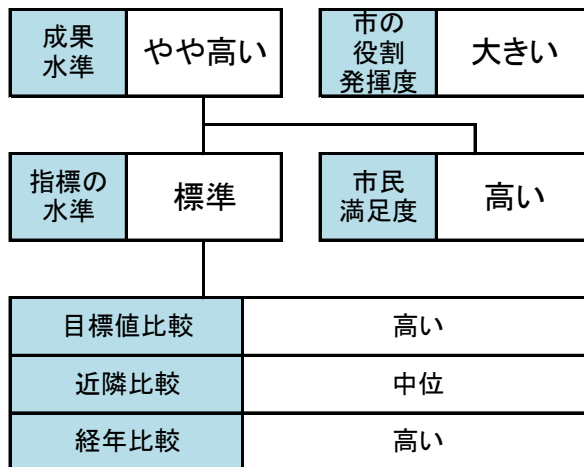
7-5 いつでも信頼される上水道事業の推進

【取組内容と成果・成果を得られた要因】

盛岡市が抱えている地理的な条件の中で、給水区域外となっている郊外部や標高が高い地域への給水は、費用対効果の点と維持管理の面で困難が伴っているが、給水区域内の未給水地域においては住民要望を踏まえた未給水地域解消事業を進めたことにより、水道整備地域は着実に増加し、上水道普及率は目標(H23 97.6%)を達成した。

また、水道はライフラインとして、震災時においても安定した給水をしつづけることが求められ、本市においては平成5年から耐震管の使用を開始し、以来震度7の震災にも対応可能な管路の割合である水道管耐震化率は着実に増加しているが、目標(H23 23.0%)には至らなかった。

一方、漏水対策や水質維持による安全でおいしい水の安定供給や水道料金の確保、経費の削減による経営の健全化の面で一定の成果をあげている。



成果指標名(施策)	単位	施策の目標値・実績値の推移			
上水道普及率(ノ)	%				
水道管耐震化率(ノ)	%				
基本事業名	成果指標名(基本事業)	単位	H23目標	H23実績	
安定給水の確保	有効率(ノ)	%	93.7	94.6	
	水道管耐震化率(ノ)	%	施策の成果指標に同じ		
	残留塩素(ㇿ)	mg/l	1以下	0.39	
給水サービスの向上	公道内鉛製給水管解消率(ノ)	%	61.10	57.04	
経営の効率化	総資本利益率(ノ)	%	0.50	0.80	
	自己資本構成比率(ノ)	%	65.00	66.20	
市民満足度・重要度					